

---

# Fortis931

烏天狗0713

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

F o r t i s 9 3 1

### 【Nコード】

N 7 8 2 1 U

### 【作者名】

烏天狗0713

### 【あらすじ】

高校生の『彼』は、  
とある魔術の禁書目録の『ステイル＝マグヌス』へとなってしまっ  
た……

彼のこれからの人生に救いはあるのか？

## 1話 ステイル「マグヌス（前書き）」

なんとなく考えていた話を書いてみました。

こちらの更新は、現在書いている小説を優先するため、  
ナマケモノペースで行くかと思えます。

それでよろしければ……どうぞ？

## 1話 ステイル「マグヌス」

知らない天井だ……

そんなことを白いベッドの上で思った

「……何を考えているのだろうか、僕は」

ぼろい天井……どうやら古い家のようだ……

整備もされてない家……捨てられた家なのか？

だが、ベッドは綺麗にしてある。

……もしかして、僕は、ホームレス？

記憶にはないが、“覚え”があるような気がする。

だがなぜ、急にホームレスに？

僕が覚えている昨日は、高校から帰ってきてから、  
夕食に入浴、そのまま就寝したはずだが……

僕が寝ている間に何が？

「とりあえず、この部屋から出ようか……」

母さんに確認しよう……

木製の扉のドアノブを手にかけて、開ける。

そこにいたのは、長髪の美しい女性……日本人だろう。  
長い髪をポニーテールに括り、Tシャツに片方の裾を根元まで切ったジーンズ、  
腰に……刀!? あんな長い刀つて、帯刀いいのか?  
女性はこちらを向き、

「ステイル、目覚めましたか……疲れていたのでしょうか。  
まだ夜です、寝ていたらどうでしょうか?」

ステイル?  
誰のことだろうか?

「?……どうしたのですか、ステイル?」  
ステイル、ステイル……なんだか記憶の奥で引っかかるような感  
覚。  
誰のことを言ってるのだろうか?

「あの……どなたと勘違いしていませんか?」  
僕は、“ステイル”という名前ではない……ないのか?  
もしかしてたら、そうなのか?  
そういえば、前読んだライトノベルに  
そんなキャラ居たような気がするな……  
でも、ありえないだろう……

「え、ス、ステイル!? 私です、神裂 火織ですよ!何を言ってる  
のですか!?!」

彼女はものすごく動揺しながら、名を名乗った……

神裂 火織……

どこかで……？

「『必要悪の教会』の聖人、神裂 火織ですよ！分かりませんか！？」

神裂は、僕に近づき、肩を揺らす。

というか、力強すぎ……死ぬ、こんなので死んでしまう。止めなければ、

「や、やめてください。死んでしまう……」

「はっ！？すみません！」

彼女はそう言い、揺らすのを止めて僕に話しかける。

「……本当に……分からないのですか？」

上目遣いでこちらを見る……上目遣い？

どうしてだ？

彼女は結構長身であるう。

多分、僕と同じくらいに。

なのに、彼女は下から見ることしか出来ない……

やっと気づいたが、これは……

僕が大きいのか？

多分相当に……

ん？まてを……  
ステイル、神裂、火織、『必要悪の教会』、聖人、  
力が強い、そして、身長差が大きい。」

ま、まさか……

「か、神裂……手鏡を持っていませんか？」

「え、あ、はい。ありますが……どうしましたか？」

そんなことがあつて、堪るか……

「ちょっと……貸してくれませんか？」

「？……どうぞ？」

彼女は僕の行動に疑問を持ちつつも、  
床においてあったバツクから、

手鏡を持ち出し、手渡してくれた。

「あ、ありがとうございます……」

彼女から渡された手鏡をそっと、見た……

そこには、未成年の少年に見える髪を赤く染めた男が映った……

「そんな……馬鹿な……」

僕は、

『ステイル』『マグヌス』なのか……



## 1話 ステイル「マグヌス（後書き）」

どうでしたでしょうか？

今回の主人公は原作知識を持っていますが……  
どうなることやら？

ご感想、ご指摘、お待ちしております。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7821u/>

---

Fortis931

2011年10月7日00時42分発行